

感染症情報 7月23日～29日

府下小児科198医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	839例(堺市	33例)
②ヘルパンギーナ	473例(堺市	19例)
③溶連菌感染症	361例(堺市	54例)
④RSウイルス感染症	302例(堺市	42例)
⑤手足口病	262例(堺市	20例)

府下インフルエンザ定点304医療機関(堺市29)から

インフルエンザ	4例(堺市	0例)
---------	-------	-----

が報告された。

感染症報告数は前週比8.2%増の2,544件であった。

報告の第1位は感染性胃腸炎で、以下ヘルパンギーナ、溶連菌感染症、RSウイルス感染症、手足口病の順であった。

感染性胃腸炎は府下で前週より3%増、堺市では前週より25%減であった。ヘルパンギーナは府下で前週より21%増、堺市で24例→19例は21%減であった。溶連菌感染症は府下で前週より2%減、堺市では前週52例→54例で4%増であった。RSウイルス感染症が府下で前週230例→今回302例で31%増、堺市で前週40例→今回42例で5%増あった。手足口病は府下で前週より21%増、堺市では前週12例→今回20例であった。

麻疹や風疹の報告はなかった。